



「ようこそ大野へ」

三石町中学生、祖父母の地踏む

「ようこそ大野へ」北海道三石町から中学生25人と小池町長ら4人の引卒者が、3月25～27日大野市を訪れました。

中学生は大野人の三世、四世で、初めて見る祖父母の地の印象を「山

が高く美しい」「お城がとてもすばらしい」「話すアクセントがうちのおばあちゃんそっくり」と目を輝かせて話していました。

三石町は80年前に多くの大野人が海を渡り切り開いた町で、これが機

縁になって昨年7月、大野青年会議所が82人の中学生を派遣し、友好を深めてきました。

今回はそのお返しに招待したもので、両市・町のきずなはますます太くなっていきます。

学校施設の整備を最重点

市長、施政方針で表明

はじめ、公民館を地域づくりの拠点としていろいろな学級の開設や市民体力づくりの活動を推進していきます。

環境対策面では、じんかい焼却場



施政方針を述べる寺島市長

の建設、し尿処理場施設の整備が一段落しましたので、これらの施設を十分に生かし、清潔なまちづくりを目指します。

水資源の保全とその活用は、市政の重要な課題です。かねてから準備を進めてきました上水道建設は南部地域から始め、将来の展望にたった全体計画について、市民の理解を得ながらその推進に努力してまいります。

この冬は市民のご協力によって、ほとんど井戸枯れ家庭も出さずに過ごすことが出来ました。地下水は貴重な資源であり、市民生活上はもちろん産業振興にも欠くことの出来ないものですので、工業用水については再生利用施設の設置を促進していきます。

働きやすい豊かなまちづくり

“金融”重点に産業育成

第2は働きやすい豊かなまちづくりです。農業と繊維産業の振興は

3月定例市議会

昭和53年度の市政の方向と予算を決める第170回定例市議会は、3月10～24日の15日間開かれ「一般会計、各特別会計予算案」「水道給水条例案」「大野市立学校設置条例案」など35議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。寺島市長は初日の施政方針演説で「山積する諸問題を長期的な展望のもとに着実に実施し、特に学校施設の整備と南部地域の上水道建設を積極的に進め、上水道の全体計画について市民の理解を得たい」と述べました。

なりません。

そのため、ことは長期的な展望のもとに次の3点を重点にして、きめ細かい市政の推進を図っていきます。

文化の香り高い都市づくり

上水道計画を推進

第1は文化の香り高い都市づくりです。住みよい地域社会をつくることは市政の基本であり、人づくりはその根本となるものです。

そのため、教育施設の整備を最重点とし、有終東小学校の継続工事を進め、乾側小学校・同幼稚園の改築に着工します。

社会教育では青少年の健全育成を

景気浮揚に努める

国は景気浮揚と国際収支の不均衡を是正するため、経済成長率7%を目標にした大型予算案を編成しています。

地方自治体も国と同一基調をとる必要がありますので、大野市においても限られた財政力の中で公共事業を受け入れ、市民生活関連施設の整備を進めて景気浮揚に努めなければ

スマイル

「分別収集」

わたし燃えるゴミ
あなた燃えないゴミ

—新コマーシャル

◆◆◆ 3月定例市議会



宝慶寺に林間歩道、キャンプ場づくり

市勢発展の基本条件であり、ことしは中小企業対策として金融対策に重点を置き、地場産業の育成を図るとともに、農業では米の生産調整に対処するため転作物の普及に努力し第2次構造改善事業等の近代化事業を推進します。

土地基盤整備事業は昭和46年に着手以来順調に進み、52年度現在で農

地の87%が整備され、近代化の基礎条件が整ってきましたことは喜ばしい限りです。

林業では森林資源を市民生活の中に取り入れ、第2次林業構造改善事業を推し進めてまいります。さらに農工一体の振興によって産業構造を改革し、雇用増を図るため、地元のご理解で確保された新塚原の工場

用地に工場を誘致するよう努力していく覚悟です。

奥越の中核都市づくり

国道158、新ルート建設を促進

第3は奥越の中核都市づくりです。交通・通信網の整備を促進して先進経済圏との交流基地として位置づけるため、国道157号線の改良舗装同158号線の2車線新設を促進するとともに、越美線の全線開通に努力を続けます。

広域的基幹交通網とともに必要なのが生活関連道路で、この整備は土地基盤整備工事と併せて行っていく予定です。

さらに、交通安全施設、街路、公園など都市機能の充実を図る一方、広大な山林、人造湖、貴重な文化財などを生かして観光人口の増大を図っていきます。

条例の改正

〈手数料徴収条例〉

諸証明が150円に

「大野市手数料徴収条例」の一部が改正されて、印鑑証明、閲覧手数料などの諸証明手数料が4月1日から100円が150円になりました。

〈幼稚園の条例〉

保育料、月2,700円

「大野市幼稚園入園料、保育料徴収条例」の一部が改正され、4月1日から入園料1,800円が2,700円に保育料1カ月2,300円が2,700円になりました。

〈課室設置条例〉

水道課を設置

上水道事業を本格的に実施するため「大野市役所課室設置条例」の一部が改正されて、4月1日から新しく水道課が設けられました。

〈清掃に関する条例〉

清掃事務所を設置

廃棄物の処理を適正に行うため、「大野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」の一部が改正され、4月1日に大野市清掃事務所（東大月）が設置されました。

この事務所は衛生処理場（堂本）と新しく出来たじんかい焼却場（東大月）を管理・運営します。

〈議員、特別職の報酬〉

平均13.5%アップ

特別職報酬等審議会の答申に沿って、議員、特別職の月額報酬が次のとおり改正され、6月1日から実施されます。（ ）内は旧報酬

▶議長19万円（16万円）▶副議長16万5,000円（14万円）▶議員15万5,000円（13万2,000円）▶市長48万円（43万円）▶助役40万円（36万円）▶収入役35万円（31万円）▶教育長31万円（27万5,000円）

この外、監査委員、選挙管理委員等の非常勤特別職報酬も13～25%引き上げられます。

〈水道給水条例〉

料金、供給条件など新しく制定

ことしから上水道建設が本格的に始まります。この水道のいろいろな料金、供給条件などを適正に保つため「大野市水道給水条例」が制定され、4月1日から施行されました。

条例は総則、給水装置の工事及び費用、給水、使用料、加入金及び手数料、取締り、補則の6章、40条から成っています。

〈母子家庭助成の条例〉

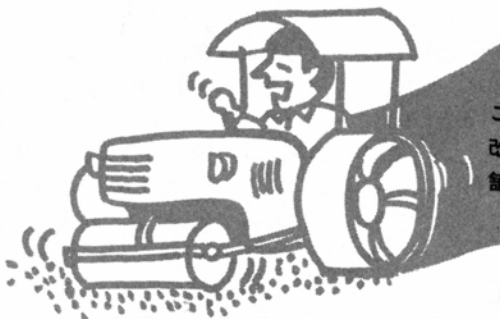
母子、寡婦の医療費無料

「大野市母子家庭等医療費助成に関する条例」が制定され、4月1日から母子家庭の母、児童生徒、それに1人暮らしの寡婦の医療費は無料になりました。

予算総額は七十九億七千万円 東小、乾側小、上水道など建設

昭和53年度当初の一般会計予算は 58億1,070万円、特別会計は21億6,599万円総額は79億7,669万円で、前年度に比べて29%の伸び率になりました。

これは、公共事業を中心に当初から積極的に予算計上したためで、その主なものとして有終東小学校建設の継続、乾側小学校・同幼稚園の改築、上水道建設、道路の改良・舗装などがあります。これらの支出をまかなうため、市税、地方交付税を年間の収入見込みを計上、市債も大幅に見込み、不足額は財政調整基金を取り崩し、収支のバランスをとりました。ことしの特徴は、限られた財源の中で重点主義を貫いたことで、積極型予算になっています。どんな事業にどれだけ使われるか主なものを紹介しましょう。



ことしの道路
改良4,300メートル
舗装9,700メートル



年次計画で舗装が進む
都市計画街路三番線

教育文化の向上

乾側幼稚園改築 2,039万円で

〈学校教育〉 有終東小校舎建築継続 3億1,783万円。同校体育館建築 1億4,550万円。同校備品購入4,

155万円。乾側小改築 1億3,523万円。乾側幼稚園改築 2,039万円。中学校補修工事 2,000万円。有終南小建設等積立金 3,326万円。

〈社会教育〉 青年、婦人、老人などの各学級開設費 293万円。まちづくり推進費 152万円。山ヶ鼻古墳発掘調査 350万円。越前大野城石垣等補修 795万円。市史編さん第二集原稿作成 644万円。

866万円。道路舗装 9,700メートル 1億474万円。

流雪溝など幹線水路改良2,690万円。県工事負担金5,385万円。

〈交通安全〉 六間・三番、越前大野駅前交差点に音響信号施設 210万円。駅東第二土地区画整理区域内に駐車場2ヵ所整備 155万円。交差点改良、区画線引きなど交通安全対策 740万円。

〈都市計画〉 三番線改良・舗装 9,000万円。緑橋川水路整備 3,000万円。陽明公園整備 1,500万円。上中野線整備 997万円。本町下水路整備 850万円。南部第二土地区画整備事業の調査 660万円。

〈保健衛生〉 南部地区上水道建設 8億1,224万円。ゴミ収集車2台購入 1,000万円。し尿処理場施設補修 1,199万円。

生活環境の整備

道路の改良・舗装 二億四千三百万円

〈土木〉 道路改良 4,300メートル、1億3,



1億3,500万円で改築される乾側小学校



300メートルの建設が計画されている林道鬼谷線

産業の振興

低利の中小企業融資 二億四千百万円設定

〈農業〉 第2次構造改善事業補助阪谷2億1,242万円。同富田北部土地改良 9,080万円。ほ場整備事業補助 9,273万円。上庄農協出荷施設補助 1,158万円。種もみ専用育苗施設

補助 1,022万円。大門、森政領家の生活改善センター補助 1,050万円。

広域営農団地農道等の県工事負担金 6,690万円。

〈林業〉 林道鬼谷線開設工事1,900万円。林業振興センター管理委託 130万円。森林総合利用施設宝慶寺に林間歩道、花木植栽、キャンプ

場造り3,485万円。

千本杉林道開設2,090万円。林業生産設備補助 1,418万円。市造林1,698万円。

〈商工〉 工業用水再生利用設備設置補助32工場1,177万円。工業用水量水計設置補助141万円。中小企業融資預託に1億2,050万円、低利の貸付総額2億4,100万円を設定。

工場誘致奨励金2工場 269万円。商工中金預託 500万円。

市民福祉の充実

老人の医療費に 2億2,492万円

〈民生〉 身障者福祉手当・医療補装具扶助 6,131万円。精薄者施設収容扶助 7,426万円。老人医療費扶助 2億2,492万円。老人クラブ(67団体)補助 438万円。児童手当4・962万円。ゼロ歳児医療扶助399万円。

私立保育所委託料 2億1,893万円。市立保育所給食、保育等の扶助2,437万円。母子家庭医療、生徒就学奨励扶助 725万円。生活保護 1億3,462万円。

〈衛生〉 成人病検診 513万円。乳幼児検診 122万円。休日診療補助 220万円。予防接種574万円。

〈労働者福祉〉 労働金庫預託金 4,000万円。低利で1件限度額50万円100件を貸出す勤労者生活安定資金労働金庫預託金 2,500万円。

一般会計歳入予算

市税は13億9,900万円

一般会計の市税総額は13億9,900万円で、前年度の実績に近い額を計上、当初予算の比較では23%の伸びです。

地方交付税は14億5,000万円で、前年比の16%増を計上しました。

市債は4億1,800万円で前年比14%の減、繰入金3億2,700万円で、その内一般財源不足のため財政調整基金2億1,600万円を取り崩し、収支のバランスをとりました。

本年度末の市債総額は22億3,100万円になると見込まれ、ここ3カ年で13億円増加しました。

今後さらに義務教育施設の整備事業が継続しますので、市債は加速度的に増加し、財政運営はますます厳しくなります。

その外の主な収入源は次のとおりです。国庫支出金10億8,148万円。

県支出金5億4,073万円。諸収入2億3,416万円。使用料及手数料9,389万円。分担金及負担金8,341万円。自動車取得税交付金6,500万円。地方譲与税6,000万円。

国保特別会計

保険税16%下げる

育児、葬祭給付を充実

国民健康保険事業特別会計は歳入・歳出それぞれ12億2,812万円で、前年より3,218万円増え、対前年比2.7%の伸び率です。

保険税については、昭和52年度の医療費の改訂が当初の見込みより実施時期が遅くなったため繰越金予想より多く出、それを昭和53年度の

財源に充当し、保険税約8,000万円、率にして前年度の16%を減税しました。

収入の主なものは、保険税4億2,556万円、国庫支出金7億1,669万円、繰越金8,000万円などです。歳出では病院や診療所に支払う医療費11億555万円、高額療養費5,005万円、一般管理費3,245万円ですが、ことしから葬祭給付金は3,000円を7,000円に、育児給付金は2,000を5,000円に改め、給付内容を充実しました。

水道建設特別会計

南部建設、7億6,000万円

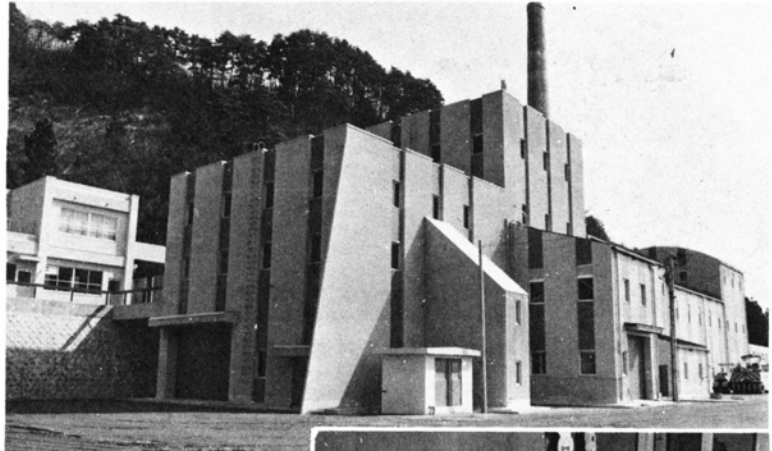
水道建設事業特別会計は歳入歳出それぞれ8億3,044万円で、支出の主なものは南部地域の上水道建設に7億6,225万円、加入促進補助1,820万円、一般管理費に2,630万円となっています。

一方、収入は市債5億4,500万円一般会計からの繰入金1億5,805万円、住民からの分担金・負担金1億895万円が主なものです。

お待たせしました

ごみ焼却場、仕事を開始

農村部の可燃物収集週一回



▲ 1日50^トの処理能力をもつ近代的なじんかい焼却場
▶ クレーンで焼却炉に運ばれるごみ

したが、焼却場の稼動と同時に収集を始めました。

農村部の4～12月の収集曜日は下表のとおりです。

この焼却場は、一昨年10月から東大月の赤根川沿い1万4,200平方^尺の土地に、総事業費 約6億9,900万円をかけ建設、1日8時間で50^ト（4万6,000人分）の処理能力をもっています。

施設は鉄筋コンクリート3階建て延1,460平方^尺の本体と、管理棟（延べ243平方^尺）鉄骨2階建ての車庫兼清掃員控室（416平方^尺）から出来ています。

本体には準連続燃焼炉2基を備え1基当たり1日25^トのごみを処理することが出来ます。

車で運ばれてきたごみは計量していったん貯蔵室へ投入、その後クレーンで焼却炉に運ばれる仕組みになっており、熱風で乾燥後、焼却、燃え残りを集めて再び燃やす3段階の方法がとられています。

この施設の特徴は公害防止に万全を期したことで、ばい煙をなくするためにマルチサイクロン装置を備え



ばい煙中の「ちり」を1立方^尺当たり0.4～0.7[%]に抑え、さらに電気集じん機で0.1[%]に減らし、皆無に近い状態にして、高さ50^尺の煙突から排出するようになっています。

悪臭については、エアーカーテン自動噴射装置、炉を利用した熱分解などによって防ぎ、騒音は防音壁を設けて最高50^{ホン}に抑え、汚水は自動汚水装置を備えて施設外へ流さないように設備されています。

市街地のごみ収集

今月から燃える物は週2回燃えない物は週1回で、収集曜日は昨年と同じです。

じんかい焼却場は2ヵ月の試運転期間を経て、4月1日から本格的に操業を始めました。

農村部のみなさんには、可燃物のごみ収集につき長らくお待たせしま

農村部のごみ収集日

地 区	可 燃 物	不 燃 物
下庄地区	金曜日	月曜日
乾側 "	土 "	火 "
小山 "	火 "	木 "
上庄 "	月 "	水 "
富田 "	木 "	金 "
阪谷 "	水 "	土 "
五箇 "	水 "	土 "



徹底したい 分別の実行

ごみの分別収集は一昨年7月から始めましたが、当初戸惑いがちだったごみの中味も、みなさんのご協力を得てほぼ分別して出されています。

しかし、まだ可燃物の中にジュースの空カン類が交じっているのが特に目立ち、良識が疑われます。

新しい焼却場はすべて機械で処理しますので、従前のように焼却前に人手による区別はできません。

もし、可燃物のごみ袋にスプレー類の不燃物が穴をあけずに入っていると大変です。爆発して危険であるとともに、精巧に出来ている炉が破損してしまいます。

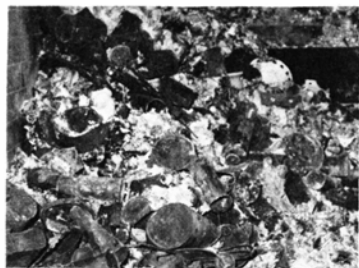
この機会に一度、各家庭で完全に分別して出すようお願いします。

可燃物、不燃物の区分けでよく間違われるものに水分の多い残菜やプラスチック、ポリ類などがあります。

これらは本来燃えるものですから可燃物収集日に出して下さい。

不燃物……空カン、空ビン、ガラス、金物、瀬戸物類

可燃物……上記以外の家庭から出る燃えるもの



炉の底に燃え残ったジュースのカン



早めると聞きました。
せつかく立派な施設が出来たのです。私たちの施設を上手に使うため「ごみの分別」を大人も子供も正確に実行しようではありませんか。

見学者の声

新しいじんかい焼却場の本格的な稼動を前に、2人の主婦の方に施設見学をしていただきました。その感想をご紹介します。

公害防止の近代施設 でも混合ごみに弱い

蔵室に入れられ、全く人手に触れず炉で処理されていく行程を見て、都会の大工場を見学しているような錯覚におちいりました。

中央制御室にはテレビがあり、処理行程の所々が写し出されて、一目で施設内の状況がわかります。

炉は階段式の大きなものが2基、内部の燃える状態がガラス窓越しに見えます。燃え盛る炎の下をよく見ると、ジュースのカンがゴロゴロしているのではないですか。

係の人の説明ですと「可燃物の燃えかすです」とのこと。私は情けなくなりました。どうして区別して出せないのでしょうか。

1本だから面倒なのかも知れませんが、1戸の1本が大野市全体では1万本にもなり大きな山が出来ます。高性能の炉は不燃物により破損を

石塚あき子さん

(泉町 56歳)

7億円をかけて完成したじんかい焼却場の施設内容には驚きました。

清掃車で運ばれてくるごみは、コンクリートの谷底のような大きな貯



不用意に交ぜた1本 炉に焦げたカンの山

酒井法子さん (小矢戸 42歳)

今まで、じんかい焼却場が約7億円で建設されていると聞いても、農村に住む私にはその必要性を強く感じませんでした。

しかし、次々と運ばれてくるごみの山を目の当たりにしますと、市民だれもが恩恵を受ける施設であることをヒシヒシと感じました。

施設内には、大きな機械が並び、公害に万全を期した設備に驚嘆しています。

最近では農村でも庭を造り、家の周囲はコンクリートで固めるなど生ごみの捨てる場所に困るようになりました。4月からは農村部も可燃物収集が始まりましたが、不燃物、可燃物の分別は完全にしなければならないことを痛感しています。それは焼却場での処理方法が全く異なるからで、燃え盛る炉の中をのぞきますと底には黒焦げの空きカンがうず高くたまっています。私たちが不用意に可燃物の中に交ぜた1個か2個のジュースカンが、終末の焼却場では山となり、多くの労力とむだな経費をかける原因になっています。

ゴミを正しく出すことはもちろん資源を大切に意味からも、婦人はリフォーム(再生)や過大包装に関心をもちごみ減らし運動をみんなが進めなければならないと思います。



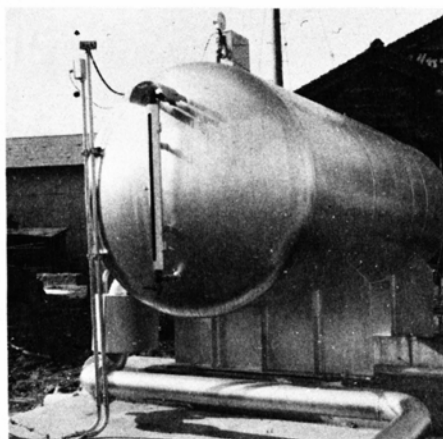
上水道計画

65年メド、90%の市民に給水

総事業費は70億円

地下水問題を抜本的に解決するため、市はこの程上水道建設計画をつくりました。完成目標を12年後の昭和65年度に置き、下庄、富田地区の一部、阪谷、五箇地区を除く3万8,000人を対象にした上水道で、約70億円を投入する計画です。

市街地南部地域はこの計画の一環として今年度から本格的な工事を始め、この冬には試験給水が出来るよう建設が進められます。



上水道の水源となる春日三丁目の深井戸

上水道計画では昭和65年度の人口を4万3,000人と推定し、その90%に近い3万8,000人に給水する計画で、市街地はもちろん、下庄（一部を除く）乾側、小山、上庄、富田地区（一部を除く）が上水道対象地域。下庄・富田の一部、阪谷、五箇地区が市の簡易水道地域になっています。

総事業費は昭和52年度の積算で約70億円、菖蒲池、中保に80～110の水源井戸を11本掘り、1日に平均

1万5,200の地下水を取水します。この水を木本に造る配水池へ送り自然流下方式で全地域に給水する計画です。

の井戸を水源にして、旧競馬場に造る配水池（840の容量）に水を集めここから配水管を敷設して、南部13区1,130戸、4,830人に1日平均1,820の給水が出来る水道を造ります。

南部、いよいよ着工

ことしに限り、加入促進補助

ことしの12月までに配・給水工事を終え、各家庭に

市街地南部地域の上水道建設は、今年度から本格的に始まります。すでに昨年暮れに設けられた4本

試験給水（無料）をし、来年4月から本格的な給水を始める計画で、工事がすべて終わるのは昭和54年度の子定です。総事業費は12億5,697万円で、財源は市債8億2,300万円、一般会計からの繰入金2億4,446万円、住民の加入金、分担・負担金1億8,800万円が主なものです。

この3月に制定された「水道給水条例」によりますと、一般家庭用（口径13の）の加入金は1戸当たり15万円になり、給水管工事費は一般家庭で5～6万円かかりますが、住民の負担を軽くし、できるだけ早く多くの方に加入していただくため、ことしに限り配水管から各家庭に引き込む給水管工事費の半額を「加入促進補助金」として助成します。

水道料は10のまでの基本料が1,500円、10のを超え20のまでが1の当たり165円、20のを超え30のまでが210円です。市簡易水道の場合、1世帯1ヵ月の平均水使用量は約15ので、この量を水道料金に試算しますと、1戸当たりの水道料は約3,300円になります。



① 荒島岳

荒島を登るにはいくつかのコースがありますが、夏、生徒児童や市民が登る蔵生からのコースは、昭和初期に地元出身の猪野毛利栄代議員が富田村民や有志とともに毎年9月27日に登山したことからその前日に下草刈りをして道を作ったのがきっかけといわれています。小荒島を過ぎて坂が急になるところに、クマザサが茂っていますが、当時は全くのジャングルで切り倒したササの上を歩いたとのこと。そして頂上には直径10の池と噴火口がありました。

このコースは福井国体の年に、大野親岳会が道標を立て道も整備して、最も登りやすいのですが、



昭和3年、富田村民山頂で
（新田、林長左衛門さん提供）

近年は勝原からの登山者が多く、スキー場第二ゲレンデを過ぎたあたりから、ブナとタケカンバの林が続き、深山幽谷を思わせる最も快適な所です。

昔は冬、熊狩りのハンターしか登らなかった荒島岳も形と眺望のすばらしいことから、日本百名山の一つに数えられ、夏冬を問わず登山者が絶えません。（T生）

有終東小が開校

一学期は西、南小で分散学習

有終東小学校は3月31日開校式を行いました。校舎は現在建設中で6月完成の予定です。

そのため、4～8月の間は有終西南両小学校に有終東小の教場を置くことになり、1学期間1・2・3年の

325人は有終南小で、4・5・6年の285人は有終西小で分散学習をします。

また、本部と特別学級は有終南小に置かれます。計画では、夏休み中に移転をして2学期からは新しい校舎で勉強することになっています。

家庭の日は16日

木や草花を大切に
美しい花を咲かせよう

消費生活文募集

県では消費者保護基本法施行10周年を記念して、懸賞文を次のとおり募集しています。

〈テーマ〉消費者の役割

〈字 数〉400字原稿用紙5枚以内

〈締め切り〉4月15日

〈提 出〉氏名、住所、年齢、職業
郵便番号、電話を明記して市生活環境課（天神町1～1）へ

消費生活改善監視員ら決まる

国の消費生活改善監視員、価格モニターとして次の方々が委嘱されました。消費生活上のいろいろな問題ご意見をお寄せ下さい。

通商産業省消費生活改善監視員

羽生豊子さん（中据）

電話6—1002

通商産業省消費価格モニター

松井欣子さん（泉町）

電話6—1157

越前大野城が開館

越前大野城は4月1日から開館しました。

時間は午前9時～午後4時（日曜祝日は午後5時）で、日曜日と祝日の翌日は休館日です。

お知らせ



標準農作業、小作料金決まる 田植え、男五千三百円

市農業委員会は、この程ことしの農作業標準料金とこれから3年間の標準小作料を下表のとおり決めました。

農作業標準料金は昨年比1～12%高、標準小作料はいずれの地域も7,000円高くなっています。

これらの料金の決定に当たっては

一般労働賃金、県下の状況、生産コストなどをよく調査検討して定められました。

同委員会では、この料金が守られることを強く望んでいます。

農作業標準料金

1. 農業労働標準賃金

作 業	男	女
田 植 え	5,300 ^円	5,100 ^円
稲 刈 り	5,300	5,100
一般軽作業	4,400	3,500

単位1日8時間労働

2. 農業機械作業の標準賃料

作 業	機 械	賃 料
水 田 耕 起	耕 運 機	5,400 ^円
	トラクター	4,300
水 田 代かき	耕 運 機	6,600
	トラクター	5,400

田植え	田 植 機	5,200 ^円
防 除	背負動力式	900
稲刈り 取 り	バインダー	6,700
	コンバイン	15,000
もみすり	もみすり機	2,600

単位10アール当たり

標準小作料

区 分	料 金
上 地 域	30,000 ^円
中 地 域	25,000
下 地 域	20,000

単位10アール当たり

市営バス白山線

15日から2往復

冬期間運休していた市営バス白山線（大野三番一鳩ヶ湯）は4月15日から運転を始めます。

右表のダイヤで11月25日まで1日2往復しますが、9月15日からは秋季時刻になり、午後の1往復の発着が40分早くなります。仕事に便乗にご利用下さい。

生活学校メンバー募集

生活学校ではことしのメンバーを募集しています。

暮らしの中のいろいろな問題につ

市営バス時刻表

停留所名	大野三番	越前大野	勝原口	中 神	鳩ヶ湯	
発→	7:00	7:07	7:30	7:40	8:00	→着
着←	9:10	9:03	8:40	8:31	8:10	←発
発→	16:35	16:42	17:05	17:18	17:35	→着
着←	18:45	18:38	18:14	18:03	17:45	←発

いて関係者と話し合い、豊かな地域社会を築いていこうとする運動集団です。主婦であればどなたでも入れますので、希望者は4月30日までに大野市教育委員会社会教育課内大野生活学校準備委員会（6—1111内線405）へ申し込んで下さい。

市民カレンダー

4月10日～24日

10	月	婦人週間	行政相談 人権相談	10.00～15.00 10.00～15.00	上庄公民館 上庄公民館		
11	火	メートル法 公布記念日	社会保険、年金相談 小児マヒワクチン投与	13.00～15.00 13.30～14.00	大野織物組合 下庄公民館	交通事故相談	10.00～16.00 市役所
12	水		行政相談 小児マヒワクチン投与	10.00～15.00 13.30～14.00	大野公民館 富田、阪谷公民館	眼科更生相談	13.00～15.00 大野公民館
13	木		心配ごと相談 小児マヒワクチン投与	9.00～12.00 13.30～14.30	市役所 大野公民館		
14	金		三種混合（1回）	13.30～14.00	下庄、乾側公民館		
15	土						
16	日	家庭の日	人権相談 行政相談 税務相談	13.00～16.00 10.00～15.00 10.00～16.00	大野公民館 小山公民館 大野商工会議所		
17	月	土 用					
18	火		三種混合（1回） 結婚相談	13.00～14.00 10.00～15.30	小山、上庄公民館 有終会館		
19	水		三種混合（1回） 行政相談 心配ごと相談	13.30～14.00 10.00～15.00 9.00～12.00	富田、阪谷公民館 富田公民館 市役所		
20	木	穀 雨	三種混合（1回） 労働相談	13.30～14.30 13.30～16.00	大野公民館 大野商工会議所		
21	金		献血 三種混合（1回）	10.00～15.00 13.30～14.00	市役所 市民会館		
22	土	全国環境 衛生週間					
23	日						
24	月						

新たに毎月15日

「お知らせ」版発行

日ごろ「市政大野」をご愛読いただきありがとうございます。

今月から紙面を充実して、毎月1日発行の本号と15日発行の「お知らせ」版をお届けし、市役所からのお知らせ事項のほとんどを月2回の「市政大野」で行うことになりました。

内容につきましても昭和48年6月から続いてきました「大野の文化財」を打ち切り、新たに懐かしい思い出を呼び起こす「ふるさと散歩」、それにいろいろな行事が一目でわかる「市民カレンダー」を加えます。今後とも“親しまれる広報”。“血の通った広報”としてますます成長しますよう、皆さん方のご意見、ご要望をお待ちしています。



やさしい春の息吹きの前に、冬將軍が白旗を掲げて退散した後、まるでその置土産でもあるかのようにな、紙クズ、空きビン・カンなどがみにくい顔を出す▼四月二十二日は「春の清掃デー」、清掃デーだからと言うわけではないが、一家そろって自分の家の周囲ぐらいいは、責任を持って美しくしたいものだ▼文明が進めばゴミの量も増え、その種類も雑多となる。人間は自分の出したゴミの処理に悩まされ、その作戦計画に苦慮する。緑豊かな大野市でも例外ではない▼このほど東大月に、近代設備を誇るゴミ焼却場が建設された。いま、その処理能力を遺憾なく発揮し、環境衛生に大きく貢献しているが、ここに嘆かわしいことがある。燃えるゴミを焼却した後の炉の中に、ジュースの空きカンがゴロゴロゴロゴロだれが燃えるゴミの中に、こんな物を忍ばせておいたのかはわからないが、ご本人は知ってござる。係りの方がカンカンになって怒ってみても始まらない。ゴミを出す人の良識を待つ以外に方法がないのだ。仕事に従事する方のご苦勞を思い、優秀な施設を大切に使うため、燃える、燃えないゴミの区別を厳守しよう▼桜前線が北上し、やがて大野盆地に花々がケンラんと咲き競うだろう。花のケンランは大いに歓迎すべきだが、その花の下、紙クズやジュースの空きカンなどのサンランはご免だ。花に恥ないよう、心の清掃をも心掛けたい。

(D生)